

# とよの

## 郷土の歴史◆年表 (西暦 57 年～1989 年)

時代名	西暦(年)	町のできごと (一部、他行政区含)	西暦(年)	日本のできごと
弥生			57	倭の奴国が後漢から金印をうける。
古代時代・飛鳥時代	645	川尻、余野、木代、野間口、切畑、余野は摂津国河辺郡、高山は摂津国嶋下郡、牧・寺田は丹波国桑田郡	239	女王卑弥呼が魏に使いを送り銅鏡百枚をもらう。
	713	川辺郡より独立して能勢郡となる。 人口 3,750 人	538	日本に仏教が伝わる。
	700後半	九木田遺跡	593	聖徳太子摂政となる。四天王寺建立
奈良時代	760	開成皇子が勝尾寺開山前に法輪寺を開基	607	小野妹子、遣隋使として渡航
	800後半	高山が勝尾寺領となる。	645	大化の改新によって蘇我家が滅亡する。 国・郡・里の制度、班田制度・税の制度 できる。
平安時代	850	寺田青峰寺開宗(鴻応山・命名、義顕上人) 寺田大歳神社創建	659	遣唐使が唐の皇帝に謁見。
	900中頃	川尻遺跡	668	中大兄皇子が即位し、(天智)天皇となる。 最初の令である(近江令)を制定
	960	源満仲、父経基公(六孫王)3回忌に当たり、 高代寺創建	701	日本最初の本格的律令「大宝律令」が制定される。
	970	源満仲、多田院を開く。(満仲 58 歳)	708	和銅開珎
	973	藤原仲光、満仲の弟・満政の息子「源治丸」 を養子として迎え、井戸城を築く。	710	奈良に都を移す(平城京)。
	986	源満仲、為楽山(現妙見山)上に「鎮宅靈符神」 を祀る。	712	古事記が作られる。
	997	源満仲 85 歳で没す。	720	日本書紀が作られる。
	1028	源頼光の子頼国、能勢の地に入り能勢氏を 称す。	723	奈良時代、開墾をするために法令を出す『三世一身の法』
			743	聖武天皇は開墾の永世私有を認めた法律を出す。
			752	奈良の大仏の開眼供養、聖武太上天皇と孝謙天皇が見守るなか行われた。
			794	京都に都を移す(平安京)。
			894	遣唐使廃止
			1016	藤原道長が摂政となる。宇治平等院建立

時代名	西暦(年)	町のできごと (一部、他行政区含)	西暦(年)	日本のできごと			
平安時代	1030	源頼光の嫡男頼国、地黄に「丸山城」築城					
	1037	能勢郡より銅を初献上					
	1060~1069	高代寺の再興に併せて、吉川八幡神社の創建に入る。					
	1069~1074	満仲四代孫頼仲、高代寺再興す。					
	1100初め	貝川三位が木代開発					
	1143	貝川三位長乗歿す。					
	鎌倉時代	1185~1189			余野に能勢某「水窄古城」を築く。	1086	白河上皇が院政を始める。
		1195			余野生まれ真空25才で東大寺に入る。	1156	後白河天皇・藤原忠通と崇徳上皇・藤原頼長の間に対立が起き、源氏や平氏の武士団を招き入れて内乱「保元の乱」に発展する。
		1200			余野にお寺を造る。(堂舎造作目録)	1159	平治の乱(へいじのらん). 京都で、平安時代の1159年に起きた源氏と平氏の戦いがありました。
		1204			吉川神社、社殿再営(9月2日)	1160	源頼朝が伊豆に流される。
1207		余野に仏照寺完成	1167	平清盛が太政大臣となる。			
1220		木代荘(石清水八幡宮善法寺家が領有する) ・木代頂応寺・切畑の石風呂が造られる。	1169	石製の五輪塔が作られる。			
1282		木代庄(3村)を石清水八幡宮(善法寺)へ神領として寄進。	1184	源頼朝に平氏追討宣旨			
1288		丸山城、山の山麓に「石造九重塔」。	1185	鎌倉幕府の成立、壇ノ浦で平氏滅亡、守護・			
1291		寺田、青峰寺創建(宗観和尚)	1187	地頭を置く。			
1296		長栄山・興徳寺「宝篋印塔」、鎌倉中期のもので大阪府下最古。	1189	源義経平泉の藤原秀衡を頼る。 ・藤原泰衡、義経を殺す。源頼朝、藤原氏を滅ぼす。			
1303		切畑大円釈迦堂阿弥陀三尊笠塔婆造立	1192	源頼朝征夷大將軍となる。			
1314		切畑法性寺地藏石仏造立	1219	源頼朝暗殺される。北条氏の執権政治始まる。			
1319		真如寺、鐘楼にかかる梵鐘は府指定(関西身延・かんさいみのぶ)。	1274	元・高麗軍が日本に攻めてくる。(文永の役)			
室町時代		1341	野間のたて石「地藏一尊種子自然板碑」	1281	元・高麗軍が日本に攻めてくる。(弘安の役)		
		1352	正平七年(南朝の年号)川尻打越阿弥陀三尊造立	1297	幕府徳政令を発す。		
		1354	吉川高代寺五輪塔造立	1333	足利尊氏六波羅を落とす。新田義貞が北条高時を滅ぼす。		
		1355	川尻法輪寺姫の塔	1336	南北朝始まる。		
		1360	丸山城、山麓に宝篋印塔建立				

時代名	西暦(年)	町のできごと (一部、他行政区含)	西暦(年)	日本のできごと	
南北朝時代	1373	・余野遊仙寺寄せ墓五輪塔婆	1378	・足利義満新宅に移る。(金閣寺)	
			1392	・南北朝の合体	
	1407	・壬生家文書に能勢の亥の子餅の記事。	1428	・正長の土一揆以後各地に起こる。	
	1446	・牧梅相院の前身の阿弥陀堂建立	1459	・足利義政御所に移る。(銀閣寺)	
	1492	・吉川豊前守長仲「吉川城」を築く。	1467	・応仁の乱(下克上の時代)	
	1493	・余野山城守頼幸(能勢頼弘の五男)「余野城」を築く。			
	1520	・木代の荘で前年に2石4斗を亥の子餅に使うという記録	1543	・ポルトガル人が種子島に漂着(鉄砲二丁伝わる)	
	1548	・川尻北の谷磨崖仏	1549	・ザビエルが鹿児島に来てキリスト教を伝える。	
	1549	・勝尾寺で火事、高山氏に世話になるという記録、1545年以降勝尾寺の荘納帳に、高山氏の資料無し。			
	1552	・摂津高山にて、高山飛騨守の長子「右近」誕生 ・池田長正、本願寺光教へ一庫炭(菊炭)、十荷贈る。			
	1557	・高山右近「高槻城」にうつる。			
	1559	・高山飛騨守、松永久秀に仕え、大和国沢城をもらう。			
	室町時代	1561	・能勢頼次、8月に地黄の丸山城内で出生		
1562		・高山飛騨守洗礼を受ける。高山飛騨守(ダリオ)、高山右近(ジュスト)、右近の母(マリア)、祖母(ジョアン)	1568	・信長・足利義昭を擁して入京する。	
1564		・余野十三仏、余野のクロン氏一族53名洗礼を受ける。			
1567		・高山飛騨守、三好の軍勢によって沢城落城される。家族と共に郷里高山へ			
1568		・信長上洛、和田惟政(清和源氏満政流)、将軍義昭を奉じ従う。 ・高山右近、織田信長に従い摂津芥川城を預かる。 ・織田信長、池田城攻撃する。池田勝正降伏			
1569		・高山飛騨守高槻城に移り高槻城主となる。	1571	・和田惟政、足利義昭方につき信長に反旗	
1570		・能勢郡、川辺郡の農民による境界紛争表面化			
1572		・塩川伯耆守国満、織田信長に隨身、家臣となる。	1573	・織田信長が足利義昭を追放、室町幕府滅亡	
1573		・吉川城、井戸城、塩川長満に包囲され、落城、350人余りが野間資兼、能勢頼幸、山田重友が多田庄で毒殺 ・川尻中の谷多尊石仏 ・高山飛騨守、右近父子は和田惟政の子惟長を討ち、高槻城 ・城主(高山飛騨守)、右近21才、高槻天主教会堂建立			
1574		・切畑大円下所多尊磨崖仏 ・木代たぬきやぶ多尊磨崖仏			
安土桃山時代					

時代名	西暦(年) 町のできごと (一部、他行政区含)	西暦(年)	日本のできごと	
安土桃山時代	<p><b>1574</b> ・塩川伯耆守長満、荒木村重の乱兵が織田信長に随身後、多田院焼き払う。</p> <p>・高槻に天主堂建設、余野のクロン殿の娘(ユスタ・マリア)と結婚</p>			
	<p><b>1575</b> ・切畑中の西多尊石仏、切畑西野多尊石仏</p>	<p><b>1575</b> ・長篠の戦い(信長が鉄砲を使い武田氏を滅ぼす。)</p>		
	<p><b>1576</b> ・高山右近、京都南蛮寺建立に尽力、信長の命で石山本願寺を攻める。(荒木村重陣営)</p> <p><b>1578</b> ・荒木村重、一向宗、毛利と組み信長に伊丹(有岡城)にて反旗</p> <p>・信長軍、摂津守荒木村重を倒す。(12月)</p> <p>・右近、出家し布教に専念、高槻城を開城し信長に下る。信長、右近を摂津守に任ず。</p>	<p><b>1576</b> ・信長安土城を築く。信長と石山本願寺の戦い激しくなる。</p> <p><b>1578</b> ・高山右近高槻城主(四万石)</p>		
	<p><b>1579</b> ・クロン殿荒木方の為、余野城より追放され右近を頼って高槻へ</p> <p>・4月29日鳥阪城(山口の城)城主、能勢、丹波守義純(栗栖にて)討死、城代山県伊賀守切腹し落城(信長摂丹北部を平定する)</p> <p>・能勢末流、能勢山城守頼保余野城を押領</p> <p>・幣ノ木砦を築く。</p> <p>・塩川氏能勢に乱入</p> <p>・木代庄の亥の子餅中止、(信長、石清水八幡宮の善法寺領木代荘代官塩川伯耆守)</p>			
	<p><b>1580</b> ・能勢頼道(頼次の兄)、山下城で謀殺</p> <p>・大槌峠の合戦、明智の家来、河原長右衛門、能勢の神社仏閣を焼いて行軍(吉川に陣)、翌年、頼次大空寺を逃城とする)。能勢頼次為楽山大空寺城築く。</p> <p>・川尻北の谷多尊石仏</p>			
	<p><b>1581</b> ・吉川左京亮、姫路城普請奉行職に就く。</p>			
	<p><b>1582</b> ・右近30才、本能寺の変。右近山崎の合戦に一番槍、中川清秀・池田信輝両側から合流、明智光秀を破る清洲会議にて、右近、能勢3000石と江州佐久間分の内1000石、計4000石を加増される。</p> <p>・山崎の合戦に長沢家綱(笑路城城主)、光秀方で参戦、家綱及びその一族すべて討ち死</p> <p>・本能寺の変、右近「山崎の合戦」に一番槍、中川清秀・石田信輝両側から合流し光秀軍を破る。</p> <p>・長沢氏存亡の危機、寺田又右衛門を通し、秀吉に詫げる。(別院庄の公役を任される)</p> <p>・秀吉に召しだされた河原長右衛門、能勢に再乱入(神社・寺院を焼く)</p> <p>・頼次、雌伏生活の4年間三宅助十郎と変名、犬甘野から備前へ</p> <p>・長沢采女、牧八王山長福寺(現梅相院)を建立、亡き父家綱らの菩提を弔う。</p>	<p><b>1582</b> ・本能寺の変(明智光秀、織田秀信長を殺す。)</p> <p>・秀吉、光秀を倒す。</p>		
	安土桃山時代			



時代名	西暦(年)	町のできごと (一部、他行政区含)	西暦(年)	日本のできごと	
安土桃山時代	1582	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 為楽山大空寺城落城、木代・切畑・余野・川尻、島津義弘の代官地になる為楽山大空寺城落城、木代・切畑・余野・川尻、島津義弘の代官地になる。</li> </ul>			
	1583	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩川伯耆守長満は秀吉に従い紀州霧坂の合戦に参戦</li> <li>・ 右近、亀山城攻略に坑道爆破工作、江州転戦す。賤が岳の合戦に参戦、このとき中川清秀戦死。余野のクロン父子、右近を守り戦死、右近脱出する。</li> </ul>			
	1584	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 右近余野城を攻め滅ぼす。</li> <li>・ 能勢郡の地頭職に任ぜられるが、能勢・塩川の領民の境界紛争「大乱闘事件」勃発</li> <li>・ 能勢山城守頼保、高山に右近を襲ひしが、退いて…城中で自刃(幣ノ木砦、城館共に焼亡)</li> <li>・ 右近、大阪南蛮寺建立に尽力、小牧山合戦に一番槍、秀吉の護衛をする。</li> </ul>			
	1585	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 右近明石城主に(六万石)</li> </ul>	1585	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊臣秀吉関白太政大臣に</li> </ul>	
	1586	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 能勢頼次6月、大坂城で秀吉と謁見す。</li> <li>・ 頼次、豊臣秀吉の命により島津征伐(九州)へたつ。</li> <li>・ 塩川伯耆守長満、能勢乱入を企てる</li> <li>・ 豊臣秀吉、「塩川討伐令」を発す。片桐且元、池田輝元、堀尾吉晴が、塩川の領地を包囲する。</li> <li>・ 塩川伯耆守長満は笹部の善源寺にて自刃、山下城落城</li> <li>・ 秀吉関白に、右近、秀吉に大坂城を案内される。</li> </ul>			
	1587	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秀吉の島津攻めにより、島津義久降伏「在京の堪忍料」として一万両を与えられる。</li> <li>・ 右近、秀吉の禁教令により明石より追放される。</li> <li>・ 右近「領地をとるか信仰をとるか」と秀吉から迫られる。この時、「信仰を貫く」ことで領地没収、加賀・前田家にお預けの身となる。</li> </ul>	1587	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秀吉九州平定、キリスト教の布教禁止、宣教師追放</li> </ul>	
	1588	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在京の堪忍料の領地確定、島津氏領有(木代・切畑・余野・川尻・吉川・その他)</li> <li>・ 右近、前田氏預けとなり、加賀に行く。</li> <li>・ 川尻北の谷不動明王板碑</li> </ul>	1588	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秀吉刀狩を命ず。</li> </ul>	
	1590	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 右近小田原城攻により四万石の城主に</li> </ul>	1590	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秀吉天下統一、秀吉小田原城攻め</li> </ul>	
	1592	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 右近、文禄の役。名護屋に赴き、秀吉と茶席、この時、五畿内追放を解かれる。</li> </ul>	1591	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊臣秀長(大和大納言)が死去後、頼次は能勢に帰郷する。</li> </ul>	
	1596	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近畿で慶長の大地震起こる。</li> </ul>	1592	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秀吉朝鮮攻め(文禄の役)</li> </ul>	
	1598	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秀吉病に臥せ、「銀山払い」命令をだす。</li> <li>・ 家康、京都洛南上鳥羽の実相寺で、頼次の弟(金剛院)と会う。この時、頼次のことを話す。</li> </ul>	1597	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秀吉、朝鮮に再び出兵(慶長の役)</li> </ul>	
				1599	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正月12日、家康からお召しがあり頼次謁見する。</li> </ul>

時代名	西暦(年)	町のできごと (一部、他行政区含)	西暦(年)	日本のできごと
安土桃山時代	1600	<ul style="list-style-type: none"> <li>島津義久負け「在京の堪忍料」失う。その結果、木代・余野・川尻・吉川は能勢頼次預け、切畑は能勢氏領地となる。</li> <li>能勢摂津守頼次は徳川家康の小兵として、「関ヶ原」東軍に参戦右近(48才)関ヶ原に東軍に参戦、大聖寺を攻める。</li> </ul>	1600	<ul style="list-style-type: none"> <li>関ヶ原の戦い(9月15日)</li> <li>徳川家康(東軍7万数千の軍と石田三成西軍8万数千軍)</li> </ul>
	1601	<ul style="list-style-type: none"> <li>頼次が父頼幸の菩提のため、開創「清普寺」</li> </ul>	1603	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳川家康征夷大將軍となる。</li> <li>十五代將軍徳川慶喜が大政奉還と称して政権を返上して幕を閉じた。</li> </ul>
	1605	<ul style="list-style-type: none"> <li>能勢摂津守頼次が能勢旧領地3000石回復後、日蓮宗に帰依</li> <li>右近、金沢に南蛮寺建築</li> </ul>	1613	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕府キリシタン教を禁止</li> </ul>
	1609	<ul style="list-style-type: none"> <li>右近、高岡城築城</li> <li>吉川光ヶ谷に大火発生</li> </ul>	1614	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪冬の陣、江戸時代初期、徳川家康のキリシタン大禁教令</li> </ul>
	1614	<ul style="list-style-type: none"> <li>高山右近フィリピンのマニラに追放</li> </ul>	1615	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪夏の陣(豊臣氏滅亡)</li> </ul>
	1615	<ul style="list-style-type: none"> <li>右近死亡(2月5日)、10日間にわたるマニラ市民葬儀</li> <li>「大坂夏の陣」時、家康、頼次に命じ広根一揆を掃討、山下城(塩川氏)を攻略させる。</li> </ul>	1637	<ul style="list-style-type: none"> <li>島原の乱、220年にもわたる鎖国政策は、他国との交流をたつ。</li> </ul>
	1633	<ul style="list-style-type: none"> <li>能勢氏預かり地を返上し、高槻藩領となる。</li> </ul>	1639	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸大名にキリスト教を厳禁し鎖国</li> </ul>
	1649	<ul style="list-style-type: none"> <li>高代寺参道六地藏</li> </ul>	1687	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳川綱吉、生類憐みの令を出す。</li> </ul>
	1650	<ul style="list-style-type: none"> <li>高代寺参道町石</li> </ul>	1701	<ul style="list-style-type: none"> <li>松の廊下事件</li> </ul>
	1657	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕府によって池田に42の酒造株が認められる。</li> </ul>	1702	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤穂浪士討ち入り</li> </ul>
江戸時代	1662	<ul style="list-style-type: none"> <li>余野・木代・川尻・吉川はただ銀山付き幕府領となる。(1600年代中頃、野間口は余野より独立)</li> </ul>	1716	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉宗將軍となる。(享保の改革)</li> </ul>
	1667	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳川四代將軍家綱によって「多田院法華三昧寺」として再興、今の多田神社の前進</li> </ul>		
	1672	<ul style="list-style-type: none"> <li>川尻中の谷、光明真言板</li> </ul>		
	1688	<ul style="list-style-type: none"> <li>牧梅相院の石塔群(一石五輪塔)</li> </ul>		
	1692	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉川八幡神社、石鳥居、(赤穂浪士討ち入り元禄15年3月14日)</li> <li>[牧は旗本前田(龜山城主)、寺田の一部は旗本の平野氏領]</li> </ul>		
	1695	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉川八幡神社旧記、神社吟味長原文作成</li> </ul>		
	1700	<ul style="list-style-type: none"> <li>牧梅相院、笠塔婆(長沢氏の墓標)</li> </ul>		
	1711	<ul style="list-style-type: none"> <li>走落神社石灯籠(旧天武天皇宮)</li> </ul>		
	1712	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉川上杉池造る。(吉川村誌)</li> </ul>		
	1714	<ul style="list-style-type: none"> <li>川尻旧池田街道(撰丹街道)道標</li> </ul>		

時代名	西暦(年)	町のできごと (一部、他行政区含)	西暦(年)	日本のできごと
江戸時代	1722	・川尻向井山宝篋印塔、川尻殿方庚申塔婆 ・川尻大峰供養塔、川尻向山地蔵石仏		
	1724	・川尻北の谷大峰供養塔		
	1735	・吉川八幡神社より出火(12月23日)、後西院天皇の御子本覚院宮御染筆による宝額焼失する。		
	1740	・高山マリアの墓		
	1746	・高山マリアの墓		
	1748	・牧梅相院、地蔵坐像道標		
	1751	・高山マリアの墓		
	1768	・妙見山女人禁制がとかれる。		
	1773	・吉川常夜灯		
	1758~1818	・牧梅相院の徳本名号碑		
	1786	・吉川村に大火発生、住家53件焼失		
	1817	・吉川八幡神社、献燈	1787~	・老中松平定信による寛政の改革が始まる。
	1824	・木代朝川寺地蔵石仏	1793	・天明の大飢饉
	江戸時代	1827	・吉川上ノ町、上杉池の石燈籠	1825
1828		・野間口妙見道標		
1833		・吉川旧妙見山道の鳥居の左右の燈籠		
1840		・余野・木代・野間口・川尻・吉川・高山・寺田の一部、幕府領から高槻藩領へ	1841	・天保の改革
1849		・余野の旧池田・亀岡街道道標		
1853		・吉川常夜灯	1853	・ペリー浦賀に来航
1854		・吉川旧妙見山道の鳥居の左右の燈籠	1854	・日米和親条約
			1858	・日米修好通商条約
			1860	・桜田門の変
			1867	・太政奉還
明治時代	1867	・北摂の村々で「ええじゃないか」踊りが大流行		
	1868	・明治維新 ・キリシタン禁令の定の札、余野地区(郷土資料館保)		
	1869	・版籍奉還(はんせきほうかん)一斉発行(武士の特権は全部なくなった) ・明治政府が布告した神仏分離令「廃仏棄釈」 ・廃仏棄釈により多田院法華三昧寺を「多田神社」と改める。 ・廃藩置県により麻田藩が麻田県(兵庫)となり、さらに大阪府豊島郡に統合		
	1869	・禁裏献上亥の子餅、応神天皇の時代から明治2年(1869)まで継続		
	1870	・高札場廃止 ・禁裏献上亥子餅、宮中への献上は中止	1870	・都が京都御所から東京に遷都
	1871	・麻田藩廃され県となる。後豊島郡に編入	1871	・廃藩置県
	1872	・島下郡高山村・能勢郡木代村・川尻村・吉川村・高山村・上余野村・下余野村・野間口村・大円村・中野東村・中野西村、西野村・桑田郡牧村・桑田郡寺田村		
	1874	・東能勢郵便局		

時代名	西暦(年)	町のできごと (一部、他行政区含)	西暦(年)	日本のできごと	
明治時代	1877	・余野村(上余野村・下余野村)、切畑村(大円村・中野東村・中野西村)	1877	・西南戦争	
	1889	・町村制施工で余野・野間口・川尻・木代・切畑の五カ村合併して東村誕生	1888	・市町村制	
	1893	・乗り合い馬車(余野～池田木部)	1889	・大日本帝国憲法	
	1896	・豊島・能勢郡合併し豊能郡となる。	1894	・日清戦争	
	1905	・吉川旧山下道の道標	1904	・日露戦争	
	1907	・明治40年神社合併、木代小玉神社に旧五カ村の神社9社を合併合祀し、社名を走落神社とする。 ・吉川村で八幡神社に保の谷の八幡神社を合併合祀	1910	・韓国併合	
大正時代	1912	・電話(余野～池田、余野～黄地)	1914	・第一次世界大戦	
	1913	・能勢電車、能勢口～一の鳥居間開通		1919	・パリ講和条約
	1918	・電灯(余野・木代・野間口・切田の一部3月、川尻5月)		1931	・満州事変
	1921	・吉川新妙見参道町石		1933	・国際連盟脱退
昭和時代	1923	・能勢電、妙見口まで開通	1937	・日中戦争	
	1936	・昭和11年9月東能勢小学校講堂上棟式(リベット工法) 現在、町立郷土資料館として現存する。 ・昭和11年、木代「田の虫送り」	1941	・太平洋戦争	
	1938	・昭和13年7月5日、未曾有の豪雨、訓導瀧本撰治慰霊碑	1945	・日本敗戦	
	1953	・町村合併促進法制定	1946	・日本国憲法交付	
	1955	・高山編入 ・雨乞い祈願が三草山等で実施	1947	・日本国憲法施行	
	1956	・吉川村と東能勢村が合併	1950	・朝鮮戦争	
	1958	・牧・寺田編入	1951	・サンフランシスコ講和条約	
	1977	・町制施行により豊能町発足	1953	・テレビ放送	
			1964	・東京オリンピック、新幹線開通	
			1970	・大阪万国博覧会	
		1971	・沖縄返還協定調印		
		1972	・沖縄県発足		
		1989	・昭和天皇崩御		